

令和5年第4回錦江町議会定例会一般質問

質問者	質問事項	質問の要旨	質問の相手
池田行徳	姉妹町（与論町）との交流について	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. コロナ禍が一段落した中で、行政として姉妹町である与論町との交流を今後どのように行ってゆくのか。</li> <li>2. 与論町にある民間との交流促進については、どのように考えるか。</li> <li>3. 小・中学生によるトワイライト事業での与論町の活用は。</li> <li>4. 町内の催しの中で、与論町の「かりゆしバンド」を活用する考えはないか。</li> </ol>	<p>町 長</p> <p>町 長</p> <p>教 育 長</p> <p>町 長</p>
	花瀬バンガローや花瀬プールについて	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 花瀬バンガローの今夏の宿泊状況はどうであったか。また、団体客に対する料金については適当であるのか。</li> <li>2. 台風6号による、つり橋の被害について、いつ頃の改修を計画しているのか。またその間、川向こうにある6号棟から10号棟までの活用方法はあるのか。</li> <li>3. 指定管理者制度になった花瀬プールの入り客数等状況はどうであったか。また、カヌーやSUPを活用した夜間の営業など進言できないか。</li> <li>4. でんしろう館に置いてある貸出用自転車の一部をプールに回せないのか。また、施設を利用して特産物などの土産品の販売も進言できないか。</li> </ol>	町 長
久保勇太	廃校を拠点とした地域振興策に関して	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 先の9月議会で同僚議員の質問に対し、令和7年4月に宿利原、池田、大根占小学校を1校に再編統合、大原、田代小学校を1校に再編統合する旨を表明されたが、新たに複数校の廃校が生じることになる。廃校が予定されている地区の皆様には話を伺うと、廃校後の利活用策に関しては現在決まっておらず、これからの協議になるとの見通しであるが、町としてはどのように関与していく方針か。</li> <li>2. 廃校が予定されている地区はいずれも中山間地域であり、先の9月議会で質問させて頂いたように、人口減少率は著しく、担い手不足による田畑の維持管理や集落機能の維持に大変苦勞される実態を伺っている。さらに廃校となると、地域の運動会などの交流イベントの減少により、これまで地域のコミュニティ維持がさらに困難な状況になりかねない。他方、地域の方々からは、サロン会場や将来的なグループホーム施設（介護保険施設）への改修を希望する声も頂いているところであ</li> </ol>	町 長

		<p>る。廃校予定までに 1 年余りとなっており、早急に利活用検討を始めなければならないが、仮にこのような検討に着手する場合、検討主体は公民館や自治会、または廃校予定の学校になるのか。また、必要経費等はすべて公民館や自治会、または学校負担になるのか。</p> <p>3. 9 月議会では、中山間地域の地域活性化対策として、校区単位での農村 RMO 形成推進事業を例示したが、廃校利活用を前提とすると、地域コミュニティ施設であれば文部科学省、福祉施設への転換を想定すると厚生労働省、放課後デイサービスやフリースクール等への転換を想定するとこども家庭庁等の様々な補助事業を活用することが可能になると考えられる。また、仮に検討が進み、廃校の利活用計画が決まったとしても、事業を開始するためには、廃校の改修費や、運営中の維持管理費や光熱費等の莫大な経費が必要になってくる。これまでは教育施設として、これらの改修費や維持管理費は全て町負担であったが、地域における廃校利活用事業となると、それらの負担は全て事業主体である公民館や自治会となるのか。校区から学校が失われるという事は、その地域にとっては 100 年以上に渡る伝統と拠り所が失われるという事である。町としての責任と方針を示されたい。</p>	
	<p>医師会立病院の再整備に関して</p>	<p>1. 9 月議会において、新設される当該病院の 10 年後、20 年後、30 年後の来院患者並びに入院患者の年齢構成の推移を検討していないとの回答であった。また、当該病院の潜在的な利用者になる可能性がある今の 20 代、30 代、40 代が今後継続的に利用し続けるのかという点に関しては、十分な回答が得られていないように感じる。民間事業におけるマーケティングに該当する一番重要な点であるので、改めて回答を求める。</p> <p>2. 2025 年に予定されている大阪・関西万博では、建設費用が 2018 年見通しの 1,250 億円から本年 10 月段階では 2,350 億円になるなど大幅に高騰し、建設事業者との契約が決まらず、一部で計画や設計の変更を行うなどの対応を余儀なくされている。本事例が当病院の再整備事業にそのまま該当するわけではないが、開院予定時期が 2025 年度である類似性がある以上、国内外の各種情勢を鑑みると当初計画の整備費用 58.7 億円が上振れる可</p>	<p>町 長</p>

		<p>能性は著しく高まったと言わざるを得ない。当病院再整備基本計画によると、開院 10 年目には 132 床から病床を段階的に縮小し、開院 15 年目には病床は 90 床、さらには 3 病棟から 2 病棟へ縮小し、開院 25 年目には 70 床、開院 30 年目には病床は 60 床と半減することになる。他方、療養病棟を開院 15 年目から介護保険施設の療養室へと転換し、開院 15 年目の段階で 35 床、開院 25 年目からは 50 床程度としてある。9 月議会では、将来の収益減に関しては、病床の縮小等による費用減少で対応する旨の答弁を頂いたが、病床を削減していくことが確定しているのであれば、なぜ当初から巨費を投じて 132 床を維持する大規模な施設を整備する必要があるのか。</p> <p>3. 9 月議会では、町内外の医療・介護関係の複数の経営者や関係者から、本事業の運営体制や当病院の中長期的な運営見通しに関するもっとシビアな検討が必要ではないかのご意見を頂いていたが、まさにこのことであり、将来推移を見定めたくうえで、必要に応じてダウンサイジングする経営判断が必要となってくる。それこそ、計画に記載されている介護保険施設は地域の方々より、廃校跡地に整備頂くよう要望も頂いている。そうなった場合、整備費用は 医師会立病院の再整備費用より格段に安くなる可能性が高い。現在、当該病院の実施設設計が進行中であるが、建設費用はいつの段階で明示されるのか伺う。その上で、仮に整備費用が当初の予定を大幅に上回った場合、病床の削減等を含めた設計見直しは行うのか、それとも一切行わないのか、その根拠と併せて合理的な説明を求める。</p>	
浪瀬亮祐	森林保全について	<p>錦江町森林の保全に関する条例が令和 6 年 1 月 1 日に施行されることにより、今後再造林が進むことに大きな期待をしており、現在までに町内の森林皆伐が多く進み、水資源や国土保全等を心配するところである。</p> <p>1. 近年の伐採面積と再造林は何%か。</p> <p>2. 再造林が進まない皆伐場所においては森林所有者より町が借り上げ、植付け補助制度を利用して仮称 錦江町分収育林制度（緑のオーナー）や子どもたちを含めた植樹祭を行い、森林保全をする考えはないか伺いたい。</p>	町 長

	医師会立病院建設について	<p>1. 資材価格の高騰や人件費値上げ等により建設費も上昇していくが、入札時期はいつごろか伺いたい。</p> <p>2. 入札参加条件はどのように考えているか伺いたい。</p>	町	長
	田代中央運動場トイレ改修について	<p>田代中央運動場は本年においては、夏祭りも盛大に行われ、町内外より多くの方々に田代の夏の夜を楽しんでいただいた。また、子ども達のスポーツや週2回のグラウンドゴルフなどよく利用されているが、西側のトイレ、特に女子トイレは使用禁止箇所や、障がい者用トイレのアコーディオンカーテンがなかなか開閉できない状態であり、また、ドアや壁コンクリートの剥がれや傷みが目立つ。多くの人が利用するトイレなので、改修はできないか伺いたい。</p>	教 育	長
久 本 晃	DX への取組み	<p>1. 4月に『デジタル技術を活用した住民サービスの強化や職員の働き方改革を目指すため』、特命アドバイザーを委嘱したが、現在までにどのような取組みを行ったか。また、今後どのような取組みを行っていくのか。</p> <p>2. 町有施設に防犯・災害用のカメラを設置する考えはないか。</p>	町	長
	学校施設の水道水の状況	<p>1. 県外の学校施設の水質検査で水質基準値を超え、水道水の飲用利用を禁止した。 現在の錦江町内の学校施設にある水道水の水質管理はどのように行っているか。また保護者への安全性の告知等を行っているか。</p> <p>2. 安全性を高めるため、学校に水筒の補充・飲み水用の水、浄水器などを設置する考えはあるか。</p>	町	長
川越裕子	高齢者支援について	<p>高齢化率 50%の本町において、高齢者の生活見守りや健康づくり、認知症対策は重要な支援と考える。</p> <p>1. 錦江おでかけドライブ支援事業（社協）の実施内容について</p> <p>2. あいのりタクシーの利用状況について</p> <p>3. 認知症フレンドリーコミュニティ構築促進事業の経過と今後の方向性について</p> <p>4. 下駄ばきヘルパー等有償ボランティア団体の拡充について</p> <p>5. 自立から介護支援の中間のフレイルの高齢者の把握と対策について</p>	町	長

落司道子	男女共同参画の推進について	<p>1. 令和4年12月議会で質問した際、基本計画に対する改訂版について、またDV防止法に基づく基本計画の策定については検討してまいりたい、とのことであったが、どういった検討がなされたのか。</p> <p>2. 女性の管理職やチームリーダーの登用にもつながるとして、若手職員のチャレンジ事業を実施しているとのことであった。継続的な取り組みが必要と考えられる中で、それ以降の職員への対応（研修等）はどのようにしているのか。</p>	町	長
小吉昭弘	低迷する肉用牛子牛価格の現状と今後の支援策について	<p>1. 近年の子牛価格の動向と本町の生産者、頭数はいか程か。(大根占地区・田代地区との比較)</p> <p>2. 国県の緊急の対策はどのような内容か。</p> <p>3. 大隅地区市町村の支援の動きはあるのか。</p> <p>4. 本町での支援策はどのように考えるのか。</p>	町	長
	町道坂之上線道路の改良工事について	<p>国道448号から運動公園にむけて茶工場から約100m大型車車両基地から20mの左カーブは、茶の運搬車やダンプ、グラウンドゴルフの試合等で交通量が多く危険である。改良工事を行う考えはないか。</p>	町	長